

機構認定
放射線専門医を
省エネで取得する方法

これはあくまで1例です。

ポイント

- 機構が認定する専門医資格の更新には
- ①勤務実態の証明
- ②診療実績の証明
- ③講習受講など
- 3種類の書類を提出
- 更新には従来と同じ単位である50単位が必要
- そのうち10単位は普段の勤務状況（読影件数、IVR件数）で取得する
- 残り40単位は共通講習3単位と放射線科の領域の講習37単位で取得していく。

簡単な 1 例

- 学会発表も論文も単位として換算されますが、わかりやすくするために講習のみで40単位を取得するにはとして考えます。
- 今回は総会や秋季大会を利用してできれば省エネで行うとしたらで考えます。
- 5年間に共通講習を3単位で、残り37単位が放射線科講習で埋めるのですが、それには
- 5年間に10コマある総会、秋季大会の40%に当たる4回に出席
- 共通講習3単位、総会出席点6点、1回の学会で大体8時間の講習を受ければ合計32単位で $3 + 6 + 3 \times 2 = 41$ となります。
- なので一回の学会では2日間出席するとして1日4時間の講義を受ければOKとなります。

まとめ

- 機構認定の専門医を5年間でクリアするには
 - 日常の仕事分10単位以外を講習のみで埋めるとすると
 - 総会、秋季大会の合計10回のみ出席でそれを達成するには
 - 10回中4回に出席し、それぞれ1回の学会で最低2日間の日程を4時間ずつ合計8時間の講習を行うことを目標にすれば、共通講習3単位を5年間のうちに忘れずに取得すれば達成可能です。

